

総合学術研究科におけるアドミッション・ポリシー【総合学術研究科】

【総合学術研究科全体】

【求める学生像】

広い視野と応用実践力を備え、地域で活躍、また国際的に通用する力を身につけたいと考える人

【人間文化学専攻】

【求める学生像】

- ・多様化した社会で文化的、科学的に指導者として貢献できる職業人、研究者を目指す人
- ・言語文化、社会文化に関して高度な知識を学ぶ意欲に満ちた人
- ・栄養科学、健康管理科学に強い興味を持ち、高度な知識を修得する意欲に満ちた人

【入学者選抜の基本方針】

[一般選抜]

試験の得点（専門科目、外国語、口述試問）及び出願時に提出を求める書類の内容を総合し、選抜します。

(言語文化・社会文化研究分野)

試験の得点及び出願時に提出を求める書類の内容を総合して可否を判定します。筆記試験では、専門科目、外国語を課し、本研究分野で教育を受けるにふさわしい知識と学力を評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書、及び卒業論文の概要、その他の論文を有している者は抜刷等に基づき、多様な文化を理解するために必要な知識や柔軟な思考力等を評価します。

(栄養科学・健康管理科学研究分野)

試験の得点及び出願時に提出を求める書類の内容を総合して可否を判定します。筆記試験では、栄養科学、健康管理科学に関する専門科目の知識と英語の読解力を評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書に基づき、本研究分野において必要とされる基礎的な知識を備えているか、修士論文作成に対する意欲や論理的思考力を有しているかを評価します。

[社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜]

試験の得点（小論文、口述試問）及び出願時に提出を求める書類の内容を総合し、選抜します。

(言語文化・社会文化研究分野)

試験の得点及び出願時に提出を求める書類の内容を総合して可否を判定します。筆記試験では、小論文を課し、本研究分野で教育を受けるにふさわしい知識と学力を評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書、及び実務経験又は研究経験に基づき、多様な文化を理解するために必要な知識や柔軟な思考力等を評価します。

(栄養科学・健康管理科学研究分野)

試験の得点及び出願時に提出を求める書類の内容を総合して可否を判定します。筆記試験では、栄養科学、健康管理科学に関する知識、論理的思考力、文章表現等を小論文で評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書に基づき、本研究分野において必要とされる基礎的な知識を備えているか、修士論文作成に対する意欲や論理的思考力を有しているかを評価します。

【情報マネジメント専攻】

【求める学生像】

- ・情報化の戦略策定・企画など、高度な情報システムの設計・開発・運営に関心を持つ人
- ・新産業の創出、新規事業を計画・推進したい人
- ・組織（企業、自治体、各種団体）の直面する諸問題の解決に関心を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

一般選抜（外国人留学生特別選抜を含む）のほか、推薦募集、秋季募集（イングリッシュ・トラック）を実施し、求める学生像に従った人材の受入を目指しています。

[一般選抜（外国人留学生特別選抜を含む）]

試験の得点（小論文、口述試問、英語）及び出願時に提出を求める書類（出身学校の成績、研究志望調書）の内容を総合して選抜します。まず、小論文と口述試問では各専門分野における諸問題への関心度、専門性、志望動機、意欲、論理的思考力などを点数化して評価します。次に、出身学校の成績、研究志望調書、英語（TOEIC/TOEFL スコア証明書）では各専門分野における研究に必要な基礎力を点数化して評価します。

[推薦募集]

試験（口述試問）の得点及び出願時に提出を求める書類（出身学校の成績、研究志望調書）の内容を総合して選抜します。まず、口述試問、研究志望調書では各専門分野における諸問題への関心度、専門性、志望動機、意欲、論理的思考力などを点数化して評価します。次に、学士課程における成績の優秀な学生を選抜するために、出身学校の成績の配点を高くして各専門分野における研究に必要な基礎力を点数化して評価します。

[秋季募集（イングリッシュ・トラック）]

優秀な留学生を確保するため、本学の海外学術交流協定締結校によって推薦された学生から選抜します。出身学校の成績、出身学部長の推薦書、英語（TOEIC/TOEFL スコア証明書）、研究調書をそれぞれ点数化し、総合的に評価します。まず、出身学校の成績、出身学部長の推薦書及び英語では、各専門分野における研究に必要な基礎力を点数化して評価します。次に、研究志望調書では各専門分野における諸問題への関心度、専門性、志望動機、意欲、論理的思考力などを点数化して評価します。なお、学部成績の優秀な学生を選抜するため、推薦対象は出身専攻（またはクラス）の上位 30% の成績を有する学生に限定しています。

【生命システム科学専攻】

【求める学生像】

生命科学、食品資源科学、環境科学に関心があり、社会に貢献できる専門性の高い技術者や研究者を目指す人

【入学者選抜の基本方針】

本学生命環境学部生命科学科並びに環境科学科で掲げる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現

力]、「主体性・協働性」を身につけて大学を卒業した者、又は同等以上の能力を備えていると認定できる者について、各募集区分の選抜試験を通して大学院で高度な研究を行うためにふさわしい学力や能力を検証し、入学させます。

[推薦募集]

口述試問、研究志望調書、学部成績（又はこれに準ずるもの）の内容を総合して行います。

[第1次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の各区分において、英語、専門科目（生命科学基礎及び環境科学基礎）、口述試問及び研究志望調書の内容を総合して行います。

[第2次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の各区分において、英語、口述試問及び研究志望調書の内容を総合して行います。

[外国人留学生特別選抜：学術交流協定締結校対象]

成績証明書、推薦書、英語及び研究志望調書の内容を総合して行います。

【保健福祉学専攻】

【求める学生像】

保健・医療・福祉分野において地域社会の様々な課題を解決しうる専門職として、高度な知識と技能を学ぶ意欲に満ちた人

【入学者選抜の基本方針】

[一般選抜]

学部卒業レベルの専門知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るため、筆記試験（英語）、口述試問を課し、専門知識、課題解決能力、研究への意欲等を総合的に評価します。

[社会人特別選抜]

学部卒業レベル相当の専門知識及び語学力を有していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るため、筆記試験（英語又は小論文）、口述試問を課し、専門知識、課題解決能力、研究への意欲等を総合的に評価します。なお、学位（学士）あるいは高度専門士の称号をもたない社会人に対しては、資格審査を行います。

[外国人特別選抜]

学部卒業レベル相当の専門知識及び語学力を有していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るため、筆記試験（英語又は小論文又は TOEIC/TOEFL スコア）、口述試問を課し、専門知識、課題解決能力、研究への意欲等を総合的に評価します。